

# 令和3年度「学びに向かう学校」づくり生徒推進フォーラム

【目的】学校と生徒が目指す授業像を共有し、それに向かう集団としての「学びに向かう学校づくり」に係る取組を発表・協議することを通して、各学校の取組の一層の充実を図るとともに、県内の中学校（義務教育学校の後期課程を含む）の「学びに向かう学校づくり」を推進する。

【主催】大分県教育委員会

【期日】令和3年8月4日（水）13：30～16：10

【場所】別府ビーコンプラザ レセプションホール

|                |             |           |
|----------------|-------------|-----------|
| 【参加校】中津市立中津中学校 | 豊後高田市立高田中学校 | 国東市立国東中学校 |
| 杵築市立宗近中学校      | 日出町立日出中学校   | 別府市立朝日中学校 |
| 大分市立大在中学校      | 臼杵市立西中学校    | 由布市立挾間中学校 |
| 佐伯市立佐伯城南中学校    | 豊後大野市立三重中学校 | 日田市立北部中学校 |

【内容】

## （1）開会行事

大分県教育委員会挨拶 大分県教育庁教育次長 米持 武彦

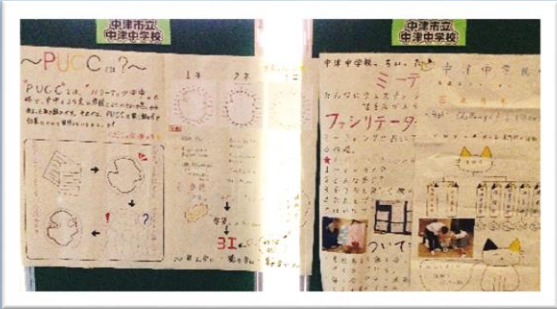
<要旨>

- 平成28年度の全国学力・学習状況の結果を受け、中学校の課題を整理し、取組を始めた。
  - ・1つ目は、生徒どうしでやりとりしたり、みんなで話し合いホワイトボードにまとめたりする等、教師主導型の授業から子ども主体の授業への転換を図る。
  - ・2つ目は、同じ学校の中や近くの学校とで、教師自身が授業方法や教え方を学ぶ。
  - ・3つ目は、学習目標を立てる等、生徒にも授業づくりに参加してもらう。
- このフォーラムの各校の取組も、年を重ねるごとに、生徒主体の活発なものになっており、プレゼン資料も内容の濃いものになってきている。自分たちの学校を自分たちで創る、自分たちが参加する授業は、先生と一緒に創るという気持ちが盛り上がってきていると思う。学校をなんとかしようと思う人が増えてきていることがうれしい。
- 3年前、日本と諸外国の若者に、「自分の将来について明るい希望を持っているか。」という調査をしたところ、「ある」と回答した若者の割合は、日本が60%程度で、調査した7か国の中で一番低かった。こういう機会が、自分たちの明るい未来につながるのだという大きな志を持って参加してほしい。
- 東京オリンピックのスケートボードで金メダルを獲得した堀米 雄斗選手は、表彰式のインタビューで、「スケートボードのイメージを変えていきたい。」と発言した。この発言の意味を考えると、スケートボードがオリンピック種目に加えられ、スポーツ文化がより豊かになっていくという未来を描こうとしているのだと感じた。みなさんと年代が近い人たちが、自分たちの未来を描こうとしているということを感じながら見ると、金メダルの意味も違ってくると思う。みなさんの志を高く持つきっかけになるよう、今日1日を過ごしてほしい。



(2) 発表 (8校によるポスターセッション)

各校が作成したプレゼン資料



中津市立中津中学校



別府市立朝日中学校



日田市立北部中学校



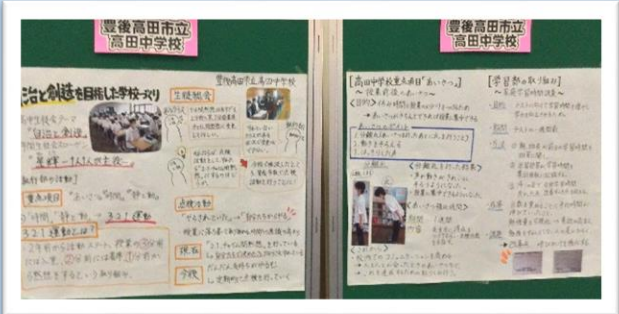
豊後大野市立三重中学校



臼杵市立西中学校



佐伯市立佐伯城南中学校



豊後高田市立高田中学校



大分市立大在中学校

説明を熱心に聴く生徒たち





### (3) グループ討議

#### 協議テーマ

『学びに向かう学校づくり』を進めるために各学校でこれから取り組むとよい活動



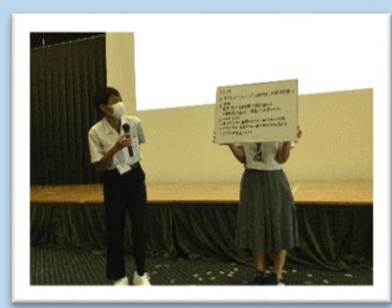
I班  
①『アライズ・アリスニング』  
日田市立北野中学校  
②発表者の自信につながる。  
意欲が高まる。  
コロナで大きな声が出せないので、  
ベストポジションに立ちおんねんと思える  
伝えることができる。  
③聞き手に対してより開いた姿勢の工夫をする。

G班  
①突破コーナー（学びに向かう学校）  
日田市立西中学校  
②職員室に自動的に行くことが、学びに向かう学校意識が高まる。先人が残したものが残っている。学習能力の向上、集中力、取り組みの向上のため。  
③職員室以外に突破コーナーがある場をいくつかつくりたい。  
（左連同士の相談には注意！）

F班  
①マラソンノート  
中津市立大津中学校  
毎日5分程度の短い時間で読む。毎日読む習慣をつける。  
5分間の時間短縮で、読者の負担を減らす。読者の負担を減らす。  
7分間の時間短縮で、読者の負担を減らす。  
マラソンノートを毎日読む習慣をつける。

Q班  
・学級向上プロジェクト  
24項目のアンケートを可視化してわかりやすくした。チャート  
中津市立中津中学校  
理由  
・チャートにすることで課題点があがりやすく改善しやすいから  
十の工夫アイデア  
自分のクラスの足りないところをアンケートに入れる。

### (4) 全体交流



### (5) 閉会行事（振り返り）

<講評> 大分県教育庁義務教育課長 武野 太

○各校の発表から今後の取組につなげてほしいこと

- ・生徒一人一人が主役になる取組をしてほしい。
- ・点検のための点検にならないよう、点検活動の目的を明確にして行ってほしい。
- ・クラス順位を決めるだけのコンクールにせず、目標の達成を目指し、意欲的に取り組めるようなコンクールの在り方も考えてほしい。
- ・取組については、短期間で振り返りを行うことも大事である。
- ・学校教育目標、生徒会スローガン、学年目標、学級目標、学習目標などがすべてつながり、みんなが何を目指しているのかが分かるように設定することも大事である。

○「社会人基礎力 12 の能力要素（経済産業省）」に係る調査において、高校生自身がまだ備わっていないと思う要素は、「主体性」「課題発見力」「創造力」であった。みんなには、どうしたら「主体性」「課題発見力」「創造力」の力が付くのか考えてほしい。そして、自分たちの未来は自分たちで創るという気持ちを持ってほしい。

